

（件名）上海の居酒屋2店舗で北海道料理フェアが開幕

上海市内の居酒屋 2 店舗で、道産食材を使用した北海道料理フェアが始まりました。また、フェア初日（3月1日）には、メディアや KOL (Key Opinion Leader) を招待したキックオフイベントを実施しました。



＜北海道料理フェア 概要＞

期間：3月1日～5月31日（3ヶ月間）※新型コロナの感染拡大により中断
 場所：鳥元（陸家嘴店、白玉蘭広場店の2店舗）
 主催：ラムラ上海（居酒屋の運営会社）
 協力：日中経済協会上海事務所北海道経済交流室
 メニュー〔*印は道産品使用〕：石狩鍋、ザンギ（鳥の唐揚げ）、芋餅*、
 鮭イクラ丼*〔イクラ〕、男爵コロッケ*、ホッケ焼、コーンバター焼、
 日本酒*（国稀本醸造、千歳鶴純米吟醸、男山北の稲穂大吟醸）等

1. 経緯等

昨年12月18日、当事務所の主催により、上海で北海道の食と酒を楽しむイベント「2021 Season of 北海道」（2021年12月号レポートで報告）を開催したところですが、当日のゲストとして参加されていたラムラ上海の呉雯嵐 総経理（今回の北海道料理フェア実施店舗の責任者）が、食材の品質や来場者の反応を確認して、自らの店舗でも北海道食材を使用したフェアを実施したいとご提案いただいたことから、このフェアが実現しました。



前回イベントでの
呉雯嵐 総経理

2. 今回の特記事項

(1) 道産食材の活用

フェアで提供する料理については、できるだけ道産品を使用することにこだわりました。米、イクラなどの食材の他、いももち、コロッケは、道内メーカーが製造する商品を使用しました。また日本酒は三種類を準備し、道産酒好きセットとして販売しました。道産品を使用できない料理についても、事前試食会を開催するなどして、北海道の本場の味に近づけるよう努力しました。

(2) 事前PR手法

会場店舗の SNS 公式アカウント、北海道の SNS 公式アカウントなどでの事前告知を行うとともに、グルメ情報サイト「大衆点评」内の店舗紹介サイトに特別記事を掲載し、北海道ファン及び店舗の固定客への認知を高めました。



グルメ情報サイト
大衆点评でのPR



料理フェアメニュー

(3) キックオフイベントの開催

今回の料理フェアは3ヶ月間の長期イベントですが、認知度を効果的に高め、その後の集客を拡大するため、フェア初日（3月1日）にキックオフイベントを開催しました。

当日は、日中双方のメディア、飲食系 KOL を招待し、多方面への発信を行ったほか、中国人消費者の皆様にご参加いただきました。日本や北海道が好きの方が多く、約半数の方は日本語も理解されています。上海市における日本ファンの層の厚さには、いつも驚かされます。



**<キックオフイベント 概要>**

日時：3月1日 18:30～21:00

会場：鳥元 陸家嘴店

特別メニュー：フェア通常メニューに、道産の米、ホタテのバター焼き、冷凍ケーキを追加し、コースで提供。小樽ビール1本をお土産に贈呈。

参加者：メディア関係者や料理系KOL、一般消費者等 計60名

イベント概要：北海道産日本酒講座（道産日本酒利き酒と並行して）

北海道と道産日本酒に関するクイズ大会

北海道ゆかりの歌の合唱（伴奏：有志ウクレレクラブ）等

※キックオフイベントの一般参加者の声を拾ってみました。

北海道が大好き。北海道のお酒と料理と北海道の話で大満足。

石狩鍋はとても美味しかった。北海道に行ったら食べてみたい。

北海道に早く行きたくなった。

このようなイベントが今後もあれば、是非参加したい。

3. 今後の展開等

3月中旬以降、上海市内における新型コロナウイルスの市中感染が急拡大したため、大変残念ながら、3月下旬に北海道料理フェアは一時中断となりました。4月以降に市中感染が沈静化した時点で再開される予定です。その際には、新たな道産食材の活用なども提案し、北海道の食の魅力を継続的にPRしてまいります。

また冒頭で説明しましたとおり、当フェアは、昨年12月に当事務所が主催した北海道PRイベントをきっかけに、ビジネススペースの北海道料理フェアにステップアップしたものです。今後も、個別のイベントの実施効果を単発のPRに留めず、可能であれば、新たな道産品販路の機会創出につなげられないか意識して取組を進めて参りたいと考えております。

（件名）中国における新型コロナウイルス感染の急拡大について

3月中旬以降、中国各都市で、新型コロナウイルスの感染が急拡大しました。

全国の新規感染者数（括弧内は発症+無症状の人数）

3月1日：119名（71+48）、3月15日：3,054名（1,860+1,194）、3月31日：7,229名（1,787+5,442）

中国で堅持されているゼロコロナ政策を踏まえ、感染をすみやかに収束させるため、長春市（3月11日）、広東省深圳市（3月14日）などでは、いち早く事実上の都市封鎖（ロックダウン）に踏み切りました。上海市でも、3月28日に上海市東部を皮切りに、4月1日には上海市全域で都市封鎖を開始することとなりました。

4月のレポートで、上海市における感染状況の推移や都市封鎖の実態等について報告する予定です。